

ごあいさつ

あつと言う間の3年間、ただただ家族のいない犬猫を幸せにしたい思いで、がむしゃらに走り続けてきました。3期目は名古屋環境大学後援の4つの講座、また5月に老犬シェルターも新設し、立ち止まらない事をモットーに、新しい試みへと活動して参りました。これもひとえに協力して下さる方々のお陰です。感謝と感動の気持ちでいっぱいになります。

特に老犬シェルター、猫シェルター、犬猫の預かりボランティアさんは、休む事なくお世話をしなくてはならず、命を預かる責任の重大さを感じ、日々頑張っておられます。殺処分だった犬猫の命を預かり、里親様へお届けするまさに命のリレーを果たして下さっています。それでも、まだまだ殺処分をされている犬猫は後を絶ちません。

一日も早く、殺処分をなくすには、どうすれば早道なのか?その事を念頭に置き、4期目も新たなチャレンジを皆様のご協力頂きながら進めていきたいと考えます。どうか、今後ともご支援ご指導をよろしくお願い申し上げます。



NPO法人ファミーユ
代表 熊崎 純子

顧問就任のお知らせ

NPO法人ファミーユの顧問として、名古屋市議員である小出 昭司氏に就任していただきました。



「犬や猫の殺処分ゼロを目指す」という素晴らしい目標を掲げ、人生を掛けて活動をされている代表の熊崎さんを始めたNPO法人ファミーユに携わる皆さんに、心から敬意を表します。特に老犬シェルターを開設し、「里親探し」や「最後を看取る」といった活動には深く感銘を受けました。そこには時間やお金や労力といった大きなコストが掛かるのは当然なことです。スタッフの皆さんの愛情はその全ての負担を凌駕する力強いエネルギーを感じます。しかし、そこには限界があります。

今やこのファミーユの熱い思いと行動は、名古屋市の行政機関をも動かし始めています。今こそご賛同頂いた皆さんのお力と結集が必要な時です。私も皆さんの仲間として「殺処分ゼロ」に向かって名古屋市への様々な働きかけをしっかりと行って参りますので、是非みんなで力を合わせて、小さくても掛け替えのない命を守りましょう。

名古屋市議員 小出 昭司

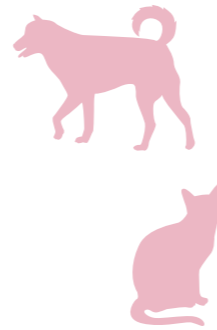
第3期 会計報告

(単位:円)

I.経常収益	
入会金	72,000
会費	1,375,594
寄付金	3,605,290
補助金	240,000
里親負担医療費	1747,711

II.経常費用	
1.事業費	
人件費	194,400
獣医等医療費	1,999,526
動物餌代	203,430
動物用消耗品費	211,959
消耗品費	47,543
会場運営費	369,637
賃借料	221,288
水道光熱費	12,341
通信費	163,662
交通費	402,430
外注費	196,998
租税公課	1,050
雑費	3,268
支払手数料	13,824
荷運賃	3,293
修繕費	91,800

2.管理費	
寄付	68,736
外注費	40,000
通信費	10,022
支払手数料	5,343
保険料	6,000
消耗品費	64,044
租税公課	900



第3期 活動報告

2014年 8 ~12月 (毎月)譲渡会開催(わんちゃん HOUSE まると)
9月 7日 「ネコ市ネコ座」(大垣元気ハツラツ市)ブース出店

2015年 1 ~5月 (毎月)譲渡会開催(わんちゃん HOUSE まると)
1月 18日 なごや環境大学共催 殺処分ゼロを目指すシンポジウム
(愛知学院大学 名城キャンパス明倫ホール)《380名参加》
[基調講演]杉本 彩(女優・タレント・一般財団法人動物環境・福祉協会Eva理事長)
[パネルディスカッション]
パネリスト/杉本 彩、石川 登紀子(名古屋動物愛護センター所長)、半田 晃士(愛知県県会議員)、
小林 祐介(高岳動物クリニック院長)、熊崎 純子(NPO法人ファミーユ 理事長)
モデレーター/守隨 智子(NPO法人ファミーユ 理事)



2月 1日 なごや環境大学共催 名古屋愛護センター見学会《49名参加》
見学を通し名古屋市の殺処分の現状を知っていただきました
3月 12日 なごや環境大学共催 ペットと同伴避難 講演会(ウインクあいち)《53名参加》
東日本大震災の例をもとにペットと避難についての講演とパネルを展示
講師/児玉 小枝(フォトジャーナリスト)
15日 「防災@カーライフフェスタ 2015 in モリコロパーク」ブース出店
ペットと同伴避難についてのパネルを展示
21日 なごや環境大学共催 犬と猫と人間の共存に関するセミナー&ワークショップ
(名古屋コミュニケーションアート専門学校)《43名参加》
5月 昭和区吹上に老犬・猫シェルターを開設し、老犬・保護猫の預かりを開始



ネコ市ネコ座



ペットと同伴避難 講演会



犬と猫と人間の共存に関するセミナー

しあわせ便り 犬と猫の里親になられた方からのお便りをご紹介

保護犬名 ジープ
かりん
里親 曾野様



「ペットを飼うなら保護犬を」と思っており、ファミーユさんの譲渡会に行きました。そこで出会ったのがジープ。トライアルを経て我が家の家族となりました。数か月後かりんに会いに行き、多頭飼いの不安もありましたが、家族として迎えることができました。
2匹とも11歳の同級生コンビです。それでも最初は距離がありましたが、今では寄り添って寝る姿もみられます。2匹は甘え上手でアピールする姿が愛らしくたまりません。また2匹ともドライブとお出掛けが大好きです。いろんなところに行って楽しく過ごしています。ジープとかりんが家族になってから我が家はより一層明るくなり、幸せな日常を送っています。実家の家族にも溺愛され、少しま〜るい体型に成長しました(笑)。これからもみんなで楽しく幸せな家庭を築いていきたいです。

保護猫名 ショウタ
シド
けんけん
くろみつ
里親 原田様



いきなり4匹のニャンコが家族になりました!我が家は先住ニャンコが1匹いて、更に増やそうとは考えていませんでしたが、知人を通してファミーユさんから4匹を迎え入れることに。毎日5匹のニャンコ達に癒される楽しい日々を過ごしています。我が家は皆動物大好きで、子ども達の教育にもなっています。
先住ニャンコはペットショップから迎え入れましたが、殺処分やリアルファーの問題等、動物達の可哀な現状をファミーユさんの活動から知り、微力ながらも小さな命を助けたいと思い4匹の里親になる決意をしました。保護された動物達は皆、人間の勝手な命を遊ばれている状況です。その問題を解決する為に奮闘するファミーユの方々の姿に感激したので、これからも応援して行きたいと思っております。本当に素敵な出会いをありがとうございます!